

保育所等訪問支援って、何をしてくれるサービスなの？

保育所等訪問支援！漢字だけ見ると保育園に行くの？誰が？と思われるかもしれませんが。どんな時どんな場面で使えるものなのかをご紹介します。

私が以前、相談員として担当した児童さんは、毎日お母さんが小学校へお子さんの付き添いを終日している状況でした。ご本人が安心して学校生活を送れるならと、お母さんの直接的な介入が容認されていましたが、そのことで母の負担も増大している状況だと思っています。放課後等ディサービスを使いだすきっかけで、そのお母さんと私が出会い、学校生活のサポートについて検討し導入したサービスでした。この保育所等訪問支援サービスは、保育士資格や児童指導員等子どもさんと関わる専門的な勉強をした支援者が関わります。対象児童と家族が困っている事を聞き取り、その後学校や保育園の様子を現場に見に行

きます。先生の言動およびクラスメイトとの関わり等、行き違いに思える部分をキャッチするとともに先生のイメージする学級作りに必要な支援方法等もアドバイスしてくれます。先ほどの親子さんは、子どもさんとお母さんの離れる時間が増えたことで、お母さん自身の自由な時間が確保できました。学校生活が安定したことで本人さんの日々の不安感も緩和しました。保育所等訪問支援が橋渡しになり、この親子のQOLがあがったケースになります。日々の関わりが、どう子どもの成長に影響するかを多くの知識で支援してくれる素敵なサービスです。

執筆者：ホイスコーレ神戸 山田 綾子

Associa Staff

嶺井 政一郎

所属：うるま市子どもの居場所 アドバンス

今回表紙を担当することになり、面白おかしく撮れないか色々悩み、結局は無難な写真になり、いつも通り自分自身の殻を破ることが出来ず少し悔しい気持ちでこの投稿を書いております。大学では福祉専攻でもなく、アソシアに入社する前もサッカーコーチやホテルの仕事に携わっていました（ここだけの話、学生の頃はどうかやっ



て授業をサボろうか必死に考えている毎日でした）そんな僕を受け入れてくれる会社があり、いつの間に入社6〜7年？あつという間に月日は流れて、今はアソシアの自主事業から離れて委託事業（子ども居場所）の方で3年目を迎えています。今年も5名のスタッフと一緒に子どもたち相手に日々奮闘していきたいと思っています。

Editor's Note

沖縄と兵庫の直線距離は約1200kmらしいです。飛行機だと約2時間。歴史や文化は違いますが、お互いに行き来しながら両者をつないでいけたらと思います。まずは、利用者さん同士の交流が出来たらなぁと想像を膨らませております。

執筆者：広報 GM 宮里 政士

Associa
local network design

発行元：株式会社アソシア
法人本部：沖縄県中頭郡北谷町北前1-10-8
TEL：098-926-5175 FAX：098-926-5176
MAIL：info@associa-1nd.co.jp
HP：https://associa-1nd.co.jp/

Reccomend Movie 009



1999年公開の映画。ある事件の現場で主人公の科学捜査官リンカーン・ライムに頭上から落ちてきた金属パイプが直撃し、脊椎に損傷を受ける。一命を取りとめたライムは、左手の指と首から上しか動かすことが出来ない状態になっている。物語は不自由な体ながらも同僚警官と共に証拠分析を行い、犯人を追い詰めるというものである。その裏では障害受容という自身との戦いが繰り返されている。若かりしデンゼル・ワシントンとアンジェリーナ・ジョリーが出演しているのも見どころ。また、原作の小説は、リンカーン・ライムシリーズとして現在でも続いている。この25年で現実社会も技術革新が起き、もちろん小説の中でもその要素が取り入れられている。

執筆者：広報 GM 宮里 政士

インスタグラムで情報配信中



ジョブ川西 ホイスコーレ神戸

ASSOCIA JOURNAL

TAKE
FREE

July
2023



VOL.10



自分の目標や体調、希望に合った作業を選択。無理なく働ける場所。

沖縄のソーシャルトレーニングアソシア B 型で行なっている作業内容の一部をご紹介します。

沖 縄の就労継続支援 B 型では幅広く作業を行っており、その一つとしてシフォンケーキの製造・販売があり、毎週高速道路のサービスエリアに納品、委託販売を行っております。また、県内で開催されるイベントにも積極的に参加しております。シフォンの包装作業は細かく、集中力が必要な作業になりますが、毎週のように包んでいる方達はラッピング検定というものがあれば 1 級確実です。

その他にも、元々外人住宅で一軒家の民泊も経営しており、お客様のチェック



アウトに合わせて清掃を行っております。多いときは週に 3 回清掃に行くときもあり、その際は洗濯、乾燥、シーツのアイロンがけと間に合わせるのにてんやわんやしております。

一軒家の清掃なので、お風呂やトイレなどの水回りにベッドメイクや床掃除、テーブルの拭き掃除など多くの箇所を清掃しますが、民泊の清掃に同行する方の中には、「掃除の仕方がわからない」「やったことが無い」という方も多くいます。掃除する順番、道具の使い方、清掃後のチェック方法を清掃箇所に合わせてそれぞれお伝えし、繰り返し実践することで、今ではどんな箇所でもオールマイティーにこなせる清掃のプロが多く誕生しました。普段の生活にも活かしているようで、「昨日お家のトイレ掃除やったよー」などの声をいただく嬉しくなります。

執筆者：ソーシャルトレーニング沖縄 當路 友一

Column

日常に潜む妖怪たち。不思議な存在を読み解いていくと見えてくるものは、その土地とそこに住む人々の歴史かもしれない。

妖 (あやかし) や物の怪に関する物語は、様々な地域で多く語られています。鬼や山姥といったメジャーなものから、沖縄のキジムナーという木の精霊的な存在、姫路城の長壁姫といった雅な姫君まで、幅広く私たちの日常の陰に存在してきた妖。時には、自然災害の脅威や、日常に潜む様々な危険性を知らしめるような存在として、人として大切なことを守り、戒める存在として、民話の中で多く語られてきました。語り継がれてきたキャラクターとしての妖は、時にユニークで、時に恐ろしく、時に心を温かくしてくれます。日本古来のアニミズム的な思想において、あらゆる日常の中に、妖を見だし、神を見だしてきた日本において、理解ができない事象を、凶事と畏怖をもちたす存在として祀ることで、凶事をもちたさなくなるような鎮魂が試みられたと考えられます。

その地に伝わる妖が、なぜここで語られているのかを知ることで、どのように今に至ったのか、その土地の持つ人の歴史や背景が見えるような気がします。あなたの地域にはどんな妖がいますか？

執筆者：ソーシャルサポート沖縄 後藤 歩



元利用者インタビュー～ Vol.3 「ジョブ川西ってどんなところ!? 卒業生が語る真実！」

卒業生が語る！アソシア・ジョブ川西（就労移行）を利用して感じたコト、得たモノ、そして自身のこれからについて。今月・来月の 2 回にわたりお伝えします。

アソシアを知った経緯を教えてください。

N さん：当時の相談員からパンフレットを受け取って「福祉っぽくないし、オシャレで良いな」と思い、見学は一人で行きました。

見学してみて印象はどうでしたか。

N さん：今まで行った事業所と違う！自由度がありそう。事前にもらっていたカリキュラム内容が社会に出た時に使えそうだし、面白そうだなと思いました。あと、スタッフの人が話しやすそうで安心しました。

当時のスタッフは若い人が多かったと思いますか？

N さん：利用者に対して気を遣い過ぎず困り込んでいない感じがありました。今まで通った事のある事業所では、スタッフが利用者をケアしてあげなくちゃ！という思いが強かった。でも、アソシアではこれもあるよ、あれもあるよと色々提案をされて、楽しいまま 1 日が終わっていきました。それが私に合い楽しく過ごせました。

代表の神谷はどうでしたか。

N さん：代表こんな人なんだぁ・・・笑。神谷さんは一番はじめに、自分の名前の由来とかを教えてくださいました。休みに一緒に喋ったり、お昼休みも一緒にご飯食べたり、友達ぐらいの距離感だった。(笑) 神谷さんだけでなく、アソシアは職員と利用者の線引きをあまりしない所が私には嬉しかったです。

アソシアを利用して印象に残っていることはありますか。

N さん：私が自分で決めて動くタイミングを待ってくれたなと思います。カリキュラムも今に生きてはいますが、それ以外のことの相談も沢山聞いてくれました。仕事についてはもちろんだけど、自分の生活面や生き方にも関わり続けてくれた。分かってもらえた気がしました。話を聞いてもらって「話して良かった」で終わ



るのではなく「話して分かってもらえた」という安心感がとてもありました。

現在は、アソシアを卒業して何をしていますか。

N さん：牧場で（乗馬クラブ）で働いています。乗馬を教える乗馬インストラクター、馬の世話・体調管理、お客様の対応、広報も行っています。チラシ作成もやっていて、他のスタッフの指導、馬の調教の仕事もあります。マルチに全部できる人をたぶん求められて、ちょうど私に合ったなと思っています。(つづく)

協力：ジョブ川西 卒業生 N さん



アソシアの就労移行を利用して 1 年ほどが経ちます。その前はホイスコーレ沖縄（生活訓練）を利用していました。引きこもりがちで人が多いところも苦手、外出することも少なかったのですが、週に 3 回通所していくうちに徐々に外の世界にも慣れていき、就職を意識するようになりました。就職準備をしたいと思いアソシアの就労移行支援を利用、カフェの厨房で日々訓練を行なっています。訓練生も多いので大変だと思う時もありますが、工賃もあるので頑張ることができています。そして先日、自分で見つけた求人に応募し面接を受けました。結果、内定をいただくことができました。これから仕事をして、自分でお金を稼いで、自分のチカラで引越して、ひとり暮らすことが現在の目標です。

協力：ソーシャルトレーニング沖縄 利用・N さん（20 歳）